

平成 31 年 3 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社くろがね工作所
代表者名 取締役社長 神足 泰弘
(コード：7997、東証第 2 部)
問合せ先 専務取締役 神足 尚孝
(TEL. 06-6538-1010)

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社の平成30年11月期において、下記のとおり特別損失が発生することになりました。又、最近の業績動向も踏まえ、平成30年7月11日に公表いたしました平成30年11月期（平成29年12月1日～平成30年11月30日）の通期業績予想につきまして、下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 特別損失の内容

当社は、平成30年12月7日に公表いたしました「不適切な会計処理に関する第三者調査委員会の設置及び平成30年11月期決算短信開示延期に関するお知らせ」及び平成30年12月14日に公表いたしました「第三者調査委員会の委員決定のお知らせ」においてお知らせいたしましたとおり、外部からの指摘があったことを契機に社内管理部門において確認を行ったところ、過年度にわたる会計処理の一部につき、不適切な会計処理が行われた可能性があることが認められたことから、調査の客観性・中立性・専門性を確保するため、外部の専門家（弁護士等）から構成される第三者調査委員会を設置し、「企業等不祥事における第三者委員会ガイドライン」に沿って調査を行っていただきました。これに伴い第三者調査委員会に係る費用並びに監査法人による追加監査の費用を含めた過年度決算訂正関連費用に対する引当金 65 百万円を計上いたします。

なお、上記調査内容については平成31年3月4日に公表いたしました「第三者調査委員会の調査報告書の受領に関するお知らせ」においてお知らせいたしましたとおりです。

2. 業績予想の修正について

(1) 通期連結業績予想数値の修正（平成29年12月1日～平成30年11月30日）

単位：百万円

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	11,050	170	110	105	61円63銭
今回修正予想（B）	11,042	△22	△54	△59	△34円96銭
増減額（B－A）	△8	△192	△164	△164	
増減率（％）	△0.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成29年11月期)	10,224	125	83	93	54円69銭

(注) 当社は、平成29年6月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 通期個別業績予想数値の修正 (平成 29 年 12 月 1 日～平成 30 年 11 月 30 日)

単位：百万円

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	11,000	90	100	58 円 69 銭
今回修正予想 (B)	11,035	△75	△77	△45 円 71 銭
増減額 (B - A)	35	△165	△177	
増減率 (%)	0.3	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 11 月期)	10,215	77	89	52 円 65 銭

(注) 当社は、平成 29 年 6 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しております。前会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1 株当たり当期純利益を算定しております。

2. 修正の理由 (連結及び個別)

通期の売上高は、家具関連事業につきましては、事務用家具部門において大口案件等の受注が想定を上回り順調に推移しました。建築付帯設備事業につきましては医療福祉施設案件が減少し厳しい状況となりました。結果、おおむね前回発表予想どおりとなる見込みです。利益面におきましては、主要原材料価格の高騰や施工費、運送費が想定以上に高止まり、さらに建築付帯設備事業の案件の減少等に伴い採算性が特に悪化し、コスト面での影響が大きく厳しい状況となる見込みであります。また特別損失として過年度決算訂正関連費用に対する引当金 65 百万円の計上を見込んでおり、前回発表の通期業績予想を修正いたします。

(注) 上記記載の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

3. 今後の予定

「平成 30 年 11 月期決算短信」については、平成 31 年 3 月 15 日に発表の予定です。

以 上